

日本公共政策学会

マイページ

お問い合わせ

プログラム

[HOME](#) / [研究大会・フォーラム](#) / [研究大会](#) / [2025年度 第29回研究大会](#) / プログラム

2025度研究大会開催趣旨

2025年度研究大会企画委員長 清水唯一朗（慶應義塾大学）

日本公共政策学会2025年度研究大会は、2025年6月14日（土）・15日（日）に、金沢歌劇座（石川県金沢市）での開催を予定しております。大野智彦委員長をはじめ、準備にあたってくださっている大会実行委員会のみなさまに心から御礼申し上げます。

本大会の共通テーマは、「公共政策学の再構築」です。昨年度の共通テーマ「公共政策と時間」を踏まえ、来年の学会創立30年を見据えて設定いたしました。理論、方法、分析、実践を架橋する公共政策学を扱う私たちが、これから何を捉え、進んでいくのか、創立30年という節目を前に、公共政策学のこれまでを振り返るとともに、次の時代に向けた理論的・実践的な発展を展望する場としたいと考えております。

2つの共通論題、5つの企画委員セッションに加え、今年は10名の若手報告、12名の個人報告、2つの企画セッションが立ちました。積極的なご応募に感謝申し上げます。本大会が、みなさまの活発な意見交換を通じて、公共政策研究の発展に寄与する機会となることを願っております。

研究大会プログラム

（2025年4月16日現在。敬称略）

第1日目 2025年6月14日（土）

9時30分～ 開場、受付開始

10時00分～11時30分 若手セッション

<若手セッションⅠ>

司会：小田切 康彦（徳島大学）

報告1：内山 卓也（日本大学大学院）「浜松市における『祭り』の政治的機能」

討論：新川 達郎（同志社大学）

報告2：正岡 祥英（法政大学大学院）「自治体議会や行政における「高校生議会」の潮流とその類型化の検討—日本のシティズンシップ教育に与える影響の可能性—」

討論：杉岡 秀紀（福知山公立大学）

報告3：武村 純一（龍谷大学大学院）「京都市青少年科学センターの社会的役割に関する一考察」

討論：加瀬 武之（衆議院事務局）

<若手セッションⅡ>

司会：西村 宣彦（北海学園大学）

報告1：酒井 秀翔（東京大学大学院）「行政委員会委員のジェンダーと実質的代表：教育委員会会議録の分析」

討論：出雲 明子（明治大学）

報告2：高木 超（慶應義塾大学大学院）「『プラ製レジ袋の提供禁止に関する条例』の政策過程」

討論：伊藤 修一郎（学習院大学）

<若手セッションⅢ>

司会：高野 恵亮（大阪公立大学）

報告1：吉田 隆紘（京都大学大学院）「能率とその散らばり：特許情報標準データによる分析」

討論：湯浅 孝康（大阪国際大学）

報告2：氏居 綾香（秋田大学大学院）「日本における洋上風力発電拡大に向けた展望と課題」

討論：横田 匡紀（東京理科大学）

報告3：居石 杏奈（総務省情報通信政策研究所）「安全保障を巡る規制慣行の創造：なぜ米国政府で軽減合意は普及したのか？」

討論：村上 裕一（北海道大学）

<若手セッションⅣ>

司会：片山 泰輔（青山学院大学）

報告1：永田 右京（岩手県立大学大学院）「ウィキッド・プロブレムとしての「地域公共交通」政策領域と政策展開に関する一考察—「新しい公共」概念に基づく言説分析を下敷きに—」

討論：長野 基（東京都立大学）

報告2：山下 瞬（東京大学大学院）「見直し条項の定量分析——自治体における

応答的法ないし評価法務の確立に向けて——」

討論：礒崎 初仁（中央大学）

11時30分～12時45分 昼休み

11時35分～12時40分 理事会

12時45分～14時45分 個別テーマセッション①

＜企画委員会セッションⅠ：EBPMの学際的展開に向けて＞

司会：杉谷 和哉（岩手県立大学）

報告1：西村 君平（東北大学）「エビデンスの四類型：評価論の観点から」

報告2：桐村 豪文（大阪教育大学）「教育政策におけるエビデンス活用の在り方」

報告3：清水 雄也（京都大学）「EBPMの哲学的難所：因果推論と政策形成の間」

討論：奥田 恒（金沢大学）

中村 絢子（国際大学）

＜企画委員会セッションⅡ：財政民主主義の現在地＞

司会者：八木 信一（九州大学）

報告1：吉弘 憲介（桃山学院大学）「ポピュリズムは財政に何をもたらすのかー大阪における大阪維新の会の政策運営を材料に」

報告2：諸富 徹（京都大学）「『103万円の壁』と財政民主主義」

報告3：掛貝 祐太（茨城大学）「『直接民主主義＝ポピュリズム』なのか？：財政議会主義の課題と対策」

討論：鷺見 英司（日本大学）

佐野 亘（京都大学）

＜自由公募セッションⅠ＞

司会：箕輪 允智（東洋大学）

報告1：河 昇彬（韓国外国語大学）・京 俊介（中京大学）「イノベーション政策としての著作権法の立法過程ーフェアユース制度導入の日韓比較分析ー」

討論：尾田 基（國學院大學）

報告2：白取 耕一郎（拓殖大学）「政策波及における異時点間選択ービネット実験を用いたミクロな意思決定の分析ー」

討論：前田 貴洋（琉球大学）

報告3：吉井 弘和（慶應義塾大学）・松村 智史（名古屋市立大学）「厚生労働省の政策立案環境の変化に関する研究ーアウトソーシングの増大と、官僚の役割に着目してー」

討論：出雲明子（明治大学）

＜国際交流委員会セッション：Future(s) of democracy in Asia: Innovations, limitations, and academic challenges＞

司会者：Shunsaku Komatsuzaki (Hiroshima University, Japan)

報告1 : Tsuey-Ping Lee (National Chung Cheng University, Taiwan)

“Taiwan’s Democratic Laboratory: AI Applications for Transparent and Inclusive Governance”

報告2 : Piyapong Boossabong (Chiang Mai University, Thailand) “Utilizing Digital Technology to Enhance Democratic Policy Design Processes: Lessons from Chiang Mai City Lab, Thailand”

報告3 : Makoto Fujiu (Kanazawa University, Japan) TBD.

討論 : Yukio Adachi (Kyoto University, Japan)

15時00分～17時00分 <共通論題Ⅰ「学際分野としての公共政策学のこれから」>

司会 : 清水 唯一朗 (慶應義塾大学)

報告1 : 松田 憲忠 (青山学院大学) 「公共政策学を取りまく苦悶」

報告2 : 牧原 出 (東京大学) 「公共政策をめぐる時間と空間」

報告3 : 土山 希美枝 (法政大学) 「課題解決の総合性、専門の分化性」

討論 : 石橋 章市朗 (関西大学)

田中 孝男 (九州大学)

17時10分～17時40分 会長講演

宇佐美 誠 (京都大学) 「ポピュリズムの時代における公共政策学の課題」 (仮)

17時40分～18時30分 総会(含、開催市長ごあいさつ)、学会賞授与式

19時00分～21時00分 懇親会 (会場 : 石川県政記念しいのき迎賓館)

第2日目 2025年6月15日 (日)

9時00分～ 開場、受付開始

9時30分～11時30分 個別テーマセッション②

<自由公募セッションⅡ (企画) : 「戦後地域開発再考—政治による事前調整の不在と争訟化」>

司会 : 阿部 昌樹 (大阪公立大学)

報告1 : 徳久 恭子 (立命館大学) 「地域開発をめぐる名望家ネットワークによる利益表出と「系列」による調整」

報告2 : 稲垣 浩 (國學院大学) 「着工をめぐる問題の広域化と政治による調整」

報告3 : 加藤 雅俊 (立命館大学) 「裁判闘争の非意図的な帰結—諫早湾干拓紛争からみる「司法と政治のダイナミズム」と紛争処理に向けて—」

討論 : 手塚 洋輔 (大阪公立大学)

阿部 昌樹 (大阪公立大学)

<自由公募セッションⅢ>

司会 : 小西 真樹 (横浜市役所)

報告1：福森 憲一郎（日本大学）「デンマークの社会住宅地区における協働型ガバナンス」

討論：新川 達郎（同志社大学）

報告2：小島 大知（長野大学大学院）「地方自治体における高齢者移住の受け入れ状況に関する検討—福祉マグネットの観点から長野県77市町村を対象に一」

討論：西岡 晋（東北大学）

報告3：馬場 健司（東京都市大学）「再生可能エネルギー施設立地に伴う近隣住民の立地プロセスへの関与意向の分析」

討論：八木 信一（九州大学）

＜企画委員会セッションⅢ：政治コミュニケーション研究の展開—メディアと感情政治—＞

司会：木下 健（福岡工業大学）

報告1：岡田 陽介（拓殖大学）・後藤 心平（広島経済大学）・戸田 香（京都女子大学）・遠藤 勇哉（大阪大学）・河村 和徳（拓殖大学）「非言語情報としての声の違いがアナウンサーの印象およびニュースの認知に与える影響」

報告2：三谷 文栄（日本大学）「感情・メディア・政治—政治コミュニケーションにおける「感情」の位置づけとその展開」

報告3：大森 翔子（法政大学）・浅野 良成（関西大学）・金子 智樹（東北大学）・谷口 将紀（東京大学）「公共機関による偽・誤情報への注意喚起に効果はあるか？：サーベイ実験による検証」

討論：小林 哲郎（早稲田大学）

＜自由公募セッションⅣ＞

司会：横田 明美（明治大学）

報告1：大村 華子（京都大学）「『公共政策の行政評価』に対する市民からの評価に関する分析」

討論：小林 悠太（広島大学）

報告2：早瀬 善彦（同志社大学）「公共政策と制度—制度を活用できる政権とできない政権の差異とは—」

討論：山谷 清秀（大阪経済大学）

報告3：久保田 唯史（京都大学、早稲田大学）「政策立案の場は科学的知見をどう扱うのか：政策現場における「正統性」からの分析」

討論：杉谷 和哉（岩手県立大学）

11時30分～12時20分 昼休み

12時20分～14時20分 個別テーマセッション③

＜自由公募セッションⅤ（企画）：エビデンスに基づく政策形成の実相と展望＞

司会：祐野 恵（京都大学）

報告1：吉澤 剛（関西学院大学）「知識利用から見るEBPMとSTI政策の現在地」

報告2：黒河 昭雄（神奈川県立保健福祉大学）・菊地 乃依瑠（政策研究大学院大学）「政策形成過程における研究利用の動態と実践的示唆」

報告3：田原 敬一郎（未来工学研究所）・安藤 二香（未来工学研究所）・吉澤

剛（関西学院大学）「政策立案者と政策研究者との共創による研究課題の設定：科学技術行政における試行結果をもとに」

報告4：安藤 加菜子（京都大学）・祐野 恵（京都大学）「EBPMと行政の専門性：博士人材の活用に関する国際比較」

討論：内山 融（東京大学）

佐野 亘（京都大学）

<自由公募セッションⅥ>

司会：木下 健（福岡工業大学）

報告1：野村 陽子（新見公立大学）・勝田美穂（岐阜協立大学）「看護系大学における政策教育プログラムの開発と今後の課題」

討論：南島 和久（龍谷大学）

報告2：岩崎 和隆（神奈川県）「地方分権と自治体統一システム構想」

討論：大西 淳也（津田塾大学）

報告3：新倉 純樹（KDDI総合研究所）「性格特性が政治的態度に与える影響」

討論：増田 知也（摂南大学）

<企画委員会セッションⅣ：「複雑化した公共ガバナンス時代における職員・民間事業者・市民」>

司会：箕輪 允智（東洋大学）

報告1：田井 浩人（北海学園大学）「「公務員」はどのように形作られるのか—自治体新人職員の組織適応と態度形成—」

報告2：竹内 直人（京都橘大学）「公共ガバナンスからみる自治体のウェル・ビーイング政策」

報告3：渡邊 有希乃（専修大学）「「効率と平等」と公共調達」

討論：工藤 裕子（中央大学）

<企画委員会セッションⅤ：立法過程における法学と法学者～刑事立法をめぐる学際的問題提起>

司会：横田 明美（明治大学）

報告1：横田 明美（明治大学）「立法過程における法学と法学者のかかわり方～問題意識の共有と全体像」

報告2：仲道 祐樹（早稲田大学）「刑事立法学の現状：刑法学と刑事立法のかかわり」

報告3：京 俊介（中京大学）「刑事政策に関する立法過程における法学者：「抑止効果」論に注目して」

報告4：武藏 勝宏（同志社大学）「刑事立法の決定過程—その特徴と変化」

討論：4報告のあと、報告者間でコメントを行う。

14時30分～16時30分 <共通論題Ⅱ：政策評価の再構築—課題と展望>

司会：藤田 由紀子（学習院大学）

報告1：亀井 善太郎（立教大学）「行政評価の『いま』と『これから』」

報告2：黒田 忠司（内閣官房）「実務者視点の政策評価と行政事業レビューの現状」

報告3：村上 裕一（北海道大学）「政策評価の新展開：社会の変化に対応するために」

討論：山谷 清志（同志社大学）

大竹 文雄（大阪大学）

研究大会・フォーラム

最新の研究大会・フォーラム

過去の研究大会・フォーラム

研究大会

2025年度 第29回研究大会

プログラム

報告概要集

報告フルペーパー

託児費用の補助（試行）について

[サイトマップ](#)

日本公共政策学会事務局

〒101-8375

東京都千代田区神田三崎町2-3-1

日本大学法学部

松元雅和 研究室

E-mail: jimukyoku[at]ppsa.jp

（[at]を@に変更してください。）